進学 Now!

石橋高校
進路指導部
保護者版 5月

はじめに

石橋高等学校保護者の皆様、こんにちは。こちらは、石橋高校進路指導部です。4年ほど前から「進学 Now!」が発刊され、その保護者版が、隔月（奇数月）に配信されるようになって3年ほど経ちました。この情報誌は、全国及び本校の進路指導情報などについて、その時点での情報をお伝えするために、発行しております。

隔月で HP（ホームページ）に掲載していく予定ですので、情報をご確認の上、お子様のご指導にお役立ていただければ幸いです。今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

0 コロナウィルス対策について

3月から一斉休校の措置が執られたため、2・3年生は約3ヶ月、1年生は約2ヶ月のあいだ、自宅で外出を自粛しながら、学習を進めてきたわけですが、お子様は健康で充実した生活を過ごしてきたでしょうか？

5月中旬から「緊急事態宣言」が解除され、学校に登校できる方向性が示されましたが、まだまだ油断できない状況に変わりはありません。ご家庭でも感染防止対策の指導をよろしくお願ひします。

1 3年生の指導について

文部科学省の推進により、新しい入試制度が始まろうとしています。「英語外部検定」と「記述式問題」については、実施延期が決定されましたが、それ以外の部分は、予定通り実施する見込みとなっております。文科省の HP にも1月29日以降、新しい情報は全く掲載されておられませんので、変化は無いと思われます。9月入学の(案)も出されているものの、未決定のままです。

3年生は、初めての「共通テスト」の受験者となるので、暗中模索の部分もありますが、試行錯誤を繰り返しながら、より有効な指導を行っていきけるよう十分に配慮して参りたいと思います。

出題教科・科目や出題方法、科目選択の方法等についても、HP に掲載されておりますので、ご確認下さい。（試験時間割は未定）

本校のこれからの準備については、以下の通りです。6月の学年部会の席でも、受験に関する情報を提供していく所存ですので、できるだけご参加下さい。

6月マーク模試 … 今年度初めてのマーク模試。自己採点の練習やマーク型模試への対応を学びます。また、その時点での学習方法を見直し、その後の学習方法の改善が急務となります。

7月記述模試 … 3年生になってからの努力を計る模試です。試験範囲も大幅に広がり、本番の入試問題の練習として最適な時期です。この時点での問題のやり直し（解き直し）が実力向上に直結します。この模試の結果をもとに、志望大学の絞り込みが行われますので、非常に重要な模試であると言えます。

夏季休業 … 7月模試の結果が帰ってくるのは8月になりますので、夏休みの前半は、模試結果を見ずに努力していくこととなります。自分の手応えを頼りに、担任や進路指導部と相談しながら、自己実現に向けて「身近な目標」を立て、計画的に進めていくことが重要になります。

夏休み後半は、理科・地歴科公民科に重点を置く期間です。1学期からすでにスタートしている進学校もありますが、本校生徒には本校生徒にあった準備があります。ここからが本番の受験を左右する、総合力勝負の始まりです。

学校の指導をよく理解した上で、お子様にアドバイスをお願いします

2 2年生の指導について

2学年は、高校生活にも慣れ、勉強の仕方も理解できてきた学年のはずです。大学入試までの期間がまだ2年もあると考えていると、緊張感が足りないダラダラとした毎日になりがちです。「チョコちゃん」に叱られそうです。

しかし、全国を視野に入れた場合、高校2年生で外部模試を受験する生徒は急増する傾向にあります。つまり、多くの2学年の生徒は志望校を絞り込み、本格的に準備を進めている時期なのです。決してのんびりしてられない時期である、とも言えます。

本校では、2学年の1年間をかけて「テーマ研究」に取り組むことになっておりますが、この取り組みは、興味・関心のある分野について、自ら研究を深めていくことで、大学での研究活動につなげていくとても大切な取り組みです。

新しい大学入試改革の中でも、高校での活動歴や大学に向けての研究計画などを提出する受験形式が始まっており、3年生の受験に関わる大切な取り組みとなっております。

また、各種模擬テストにおいても、明らかに新傾向の問題が出題され始めた様子であり、1年後に向けた対策も必要になって参ります。

2学年は、全国的には「大きく差が付く1年間」と称され、本人の「心構え」や「取り組む姿勢」で、将来の進路実現に大きな差が出てくる学年であると言われております。

まず、第1に日頃の生活の中で「優先順位」を考え着実に行動する、自己管理できる生徒を目指して欲しいと思います。

3 1年生の指導について

入学後、登校できない期間が続き、なかなか高校生活に入れぬ毎日ですが、課題に戸惑っていないでしょうか。右も左もわからない状態が続いているかと思いますが、今後できる限りのバックアップとアドバイスを提供していきたいと思ひますので、ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

さて、高校生活についてですが、中学校までの毎日とは大きく異なり、入学後すぐに大学入試を考えねばなりません。首都圏の進学校の中には、高校1年生から大学との交流講座を受けさせている学校も見られ、増加傾向にあるようです。高校生の3年間は非常に短く、あっという間に3年生の受験シーズンに突入します。しかも共通テストは3年生の1月に実施されますので、3年生の準備期間は実質9ヶ月しかありません。何となく、高校生活に慣れていけば良いのではないかと。という考えでは遅れていきます。

しかし、高校生活（15歳～18歳）は一生に一度きりの青春の日々でもあります。生き生きと活気あふれる活動も魅力の1つです。本校生は3年生の最後の大会まで部活動に加入している生徒が90%以上おります。

勉強と部活動の両立は、本校生の目標でもあり、誇りでもあります。先輩達の頑張る姿を見て、自分の毎日を充実させていって欲しいと思ひます。（早く先輩達を見せてあげたいです）

しかし、秋には文系理系の選択をしなければなりませんので、あまりゆっくりとしていることもできません。「石高手帳」を活用して、毎日の目標の実践と反省をしながら、全体のスケジュールを立てていきましょう。

4 本校の進路指導方針について

新型コロナウイルスの影響により休校が続いておりましたが、学校再開後の生徒の状況を見ながら、できる限りの指導をしていきたいと思ひます。

高校は、学校ごとに特色ある指導を行っているため、指導内容に違いが出ることもあるかと思ひますが、本校生にあった最善の指導を心がけて参りますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

進路指導は、進学指導だけではなく、将来に向かってどう生きるかの指導でもあります。文武両道を目指し、素晴らしい青春の日々を送る本校生を心から応援して参りたいと思ひます。

ご不明な点や質問したい内容等がございましたら、遠慮なくご連絡下さい。

進路指導部

*今年度の夏期オープンキャンパスは、大多数の大学で中止される見込みです。